

TRAFFIC SCOPE

交通参加者の行動を観察する

「TRAFFIC SCOPE」は交通参加者の行動観察を通じて、ドライバーやライダー、自転車利用者、歩行者に守るべきルールがあることを再認識してもらうための連載記事です。

自転車は原則車道を通行し、歩道通行時は歩行者優先の徹底を！

DATA 基礎情報

人対自転車の交通事故は増加している

2018年に発生した交通事故件数43万601件のうち自転車が関連した事故は8万5641件で、約20%を占めている。自転車関連事故全体は減少傾向にあるが、人対自転車(2756件)に限ってみると前年に比べ8.1%増加している。

道路交通法では自転車は軽車両と位置づけられるため、車道と歩道の区別があるところは道路(車道)の中央から左側部分の左端寄りを通行しなければならない。自転車が歩道を通行できるのは、①「普通自転車歩道通行可」の道路標識または道路表示がある場合、②「普通自転車通行指定部分」の道路標識がある場合、③運転者が13歳未満または70歳以上、身体の障がい等を有する者である場合、④歩道を通行することが「やむを得ない」と認められる場合(例:道路工事や連続して車両が駐車しているなど)である。

WATCHING 観察

車道よりも歩道を通行する自転車が多い

今回は朝の通勤・通学時間帯に東京都葛飾区の交差点(観察場所A)と、日没前後の帰宅時間帯に同区立区の交差点(観察場所B)にて、自転車の通行位置を観察した。A、Bともに片側一車線で、両側に歩道(普通自転車歩道通行可の標識あり)が設けられている。Aを1時間に通過した自転車は543台。車道を通行していた自転車のうち左側を通行していたのは127台(23.4%)、右側を通行していたのは10台(1.8%)、歩道を通行していたのは406台(74.8%)だった。一方、Bを1時間に通過した自転車は387台。車道を通行していた自転車のうち左側を

通行していたのは125台(32.3%)、右側を通行していたのは13台(3.4%)、歩道を通行していたのは249台(64.3%)だった。Bでは自転車のライトの点灯状況も観察。日没後(19:00以降)に通行していた156台中21台(13.5%)が無灯火だった。歩道を通行する割合がBよりAのほうが高かったのは、Aの歩道がBよりも幅員が広いことが要因の一つとして挙げられる。Aでは歩道上で自転車同士がすれ違うケースが多く、双方が進行方向に対して歩道の左側を走ろうとする意識が強く感じられた。また、車道を走っていた自転車が左折したいのに正面の信号機が赤になってしまった場合、一旦、歩道に上がり、再び交差する車道に入ってから左折していくケースも散見された。このような車道と歩道を行き来する自転車は歩行者にとって動きが読みづらく、危険に感じられた。



車道を右側通行する自転車。前方には左折してくるクルマがいる(観察場所B)



左折したい自転車は正面の信号機が赤になると、車道から歩道を經由して曲がっていく(観察場所B)

ADVICE アドバイス

交通ルールを遵守し、歩道では歩行者に配慮を

A、Bどちらも、車道は速く走りたい自転車が通行しているように思われた。しかし、歩道を通行する自転車の速度も全体的に高い。自転車歩道通行可であっても歩行者を優先し、歩行者がいる場合は徐行する必要がある。特にAでは、通勤・通学時間帯で先を急ぐ人が多いためか、歩道や横断歩道に歩行者がいても徐行しているとはいえない状況だった。子どもや高齢者以外の自転車は、できるだけ車道

を通行してほしい。歩道を通行する際は、歩行者の脅威にならないよう配慮が必要である。また、A、Bともに車道を逆走(右側通行)する自転車がみられた。車道の右側通行は道路交通法によって禁じられているだけでなく、ドライバーが気づきにくく、信号機のない交差点での出会い頭の衝突事故の要因にもなるので、左側通行を徹底してほしい。車道を通行する自転車の中には正面の信号機が赤なのに左折したい場合など、都合の良い時だけ歩道に入り、交差点をショートカットする自転車もいた。自転車利用者は軽車両を運転しているという自覚を持ち、信号など交通ルールを遵守すべきである。



車道より歩道(横断歩道)を通行する自転車が多かった(観察場所A)

観察結果

観察場所 A

東京都葛飾区 JR「亀有駅」付近
観察日/7月10日(水)
観察時間/7:40~8:40
天候/曇り

●観察場所 A における自転車の通行位置

	車道		歩道	合計
	左側通行	右側通行		
自転車(台)	127 (23.4%)	10 (1.8%)	406 (74.8%)	543



進行方向に対して歩道の左側に寄って通行する傾向がみられた(観察場所A)



車道を並進する高校生の自転車(観察場所A)



車道を右側通行する自転車(観察場所A)



赤信号になってから交差点に進入する自転車(観察場所A)

観察場所 B

東京都足立区 JR「綾瀬駅」付近
観察日/7月10日(水)
観察時間/18:30~19:30
天候/曇り

●観察場所 B における自転車の通行位置

	車道		歩道	合計
	左側通行	右側通行		
自転車(台)	125 (32.3%)	13 (3.4%)	249 (64.3%)	387

●観察場所 B における自転車のライト点灯状況(19:00~19:30)

	ライト点灯	無灯火	合計
自転車(台)	135 (86.5%)	21 (13.5%)	156



スマートフォンを注視しながら運転している自転車(観察場所B)



歩道を並進する子どもの自転車(観察場所B)



歩道を無灯火で走る自転車(観察場所B)



日没後、ライトを点灯させる自転車が多かった(観察場所B)